

ボーイズ報

毎週水、金曜日掲載



第48回日本少年野球選手権大会(8月2~6日、大阪・舞洲球場ほか)の支部予選が行われ、兵庫県支部では播磨ボーイズ、阪神ボーイズがともに初出場を決めた。京都府支部でも京田辺ボーイズの初出場が決定。また、大阪阪南・奈良県支部小学生の部でも堺南ボーイズが初出場。滋賀県・京都府・兵庫県支部の小学生の部では京都二条ボーイズが3年ぶりの全国切符を手にした。

の初出場が決定。また、大阪阪南・奈良県支部小学生の部でも堺南ボーイズが初出場。滋賀県・京都府・兵庫県支部の小学生の部では京都二条ボーイズが3年ぶりの全国切符を手にした。

悲願の初出場



兵庫県支部
 (24日、明石トナリ球場)
 ◇中学生の部【代表決定戦】
 兵庫西宮ボーイズ
 2600 200
 200 123
 104
 (6回時間切れ)

優勝花添えた
 播磨が、悲願の全国切符を勝ち取った。代表決定戦で初の代表切符を手にする、阪神との決勝では逆転サヨナラ勝ち。

播磨ボーイズ



初の全国大会へ向け、弾みをつけた。代表決定戦では初回に2点を失ったがその裏、選手権初出場を決めた播磨ナインは、帽子を投げて喜ぶ【下】決勝の7回、三塁走者・原が頭から生還。サヨナラVを決めた。

4連続四球などで追いつくと、2回には一死満塁で3番・大西のゴロが敵失を誘い、勝ち越し。4回も大西のゴロが適時内野安打となるなど、得点を重ねた。ラッキーポイントの大西は「ついでに、少しは貢献できたかな」と照れ、初の代表に

中上監督は「悲願成就ですわ」と感無量の様子だった。決勝も1点を追う7回、高辻のスクイズで同点とし、最後は相手の暴投で三塁走者・原がヘッドスライディングで生還し、サヨナラ勝ち。原は「滑らなくても間に合ったが、体が優勝を表現した」と初優勝をかみしめた。

阪神

◇中学生の部【決勝】
 阪神ボーイズ
 3000 0000
 2000 0000
 2X0 4
 43



出場

完封で決めた
 阪神が代表決定戦で競り勝ち、選手権大会初出場を決めた。息詰まる投手戦となったが、4回1死から3連打でチャンス

沢坂監督は「坂口翔は、気持ちの入りが別人だった。スクイズはバッテリーが冷静に対処して封じた」と絶賛。大一番で完封勝利を飾った坂口翔も「昨年の代表決定戦準決勝で龍野にサヨナラ打を打たれ、その思いを胸に投げた」と雪辱を果

阪神はこの一回一死、三塁の危機を背負ったが、先発・坂口翔・渡壁のバツテリーは相手スクイズを読み、高めのボール球を外した。飛び出した三塁走者は快殺。その裏、鈴啓の適時二塁打で2点を奪い、突き放した。

をつくり、9番・金城の投ゴロで先制。直後の5回が勝負の分かれ目となった。



後の打席

和歌山県支部
 和歌山南紀
 和歌山北紀
 和歌山東紀
 和歌山西紀
 和歌山南東
 和歌山北東
 和歌山南西
 和歌山北西